



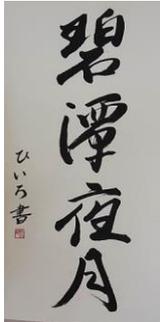
# 書道部

小諸高等学校 書道部

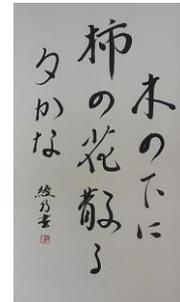
私たち書道部では寒さも厳しい1月から新年度にむけての活動が始まります。7月上旬の野岸祭にむけ、1・2年生のみの活動ではありますが、臨書作品〔古典とよばれる作品の良さを自ら追体験して作品としてまとめる学習〕を中心に各自最低でも一点は仕上げるようにしています。



4月になり新入生を迎えると本格的に活動するようになります。臨書作品も含め、部員は、「学年の数字+1点」の出品を目標にします。臨書以外の作品は、書道においては、〔創作作品〕と呼んでいます。自分の好きな語句・ことわざや俳句・短歌等さまざまなジャンルから選びます。作品の裏打ちの機械を借用して裏打ちをした個人の作品と学年ごとの共同作品を展示します。



共同作品例



7月からは秋に実施される長野県高校書道展にむけて作品制作を進めることとなります。ここでも主として臨書作品を一点出品することにします。野岸祭に出品したものと違った書体・ジャンルのものに取り組みます。別の古典の良さに触れることにより、さらに表現のレベルアップが図られます。

例年は期間中、展示会場に出品者が集まり、そこで交流をはかったり、講習会を行っています。今年度は松本で全国高等学校総合文化祭(信州総文祭)が開催されます。

冬の12月には東信地区の高校書道展が行われています。県の高校書道展で取り組んだ古典とは違ったものに取り組みます。ここでの作品づくりは次の年度へのステップになります。作品の構成の仕方や墨の使い方等を学んでいきます。



信州総文祭の会場に展示する「のぼり」とともに。

富山県の人たちへの歓迎の幟